

保育士自己評価チェックリスト

評価日 令和5年3月16日

保育士(正職員) 12名

| 評価基準         |  | A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない |    |   |   |
|--------------|--|---|----|---|---|
|              |  | A   | B  | C | D |
| 総則           | 入園している子どもの最善の利益を考慮して保育にあたっていますか                                | 2   | 10 | 0 | 0 |
|              | 『全体的な保育の計画』に基づき、保育目標を定め保育を行っていますか                              | 4   | 7  | 1 | 0 |
|              | 子ども一人一人の人格を尊重し、自らの人間性や専門性の向上につとめ豊かな感性と愛情をもって保育にあたっていますか        | 4   | 6  | 2 | 0 |
|              | 反省・課題 別紙参照   |   |    |   |   |
| 子どもの発達       | 子どもの発達は豊かな心情意欲態度を身に着け、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか             | 5   | 7  | 0 | 0 |
|              | 『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を理解し、子どもの発達の連続性に配慮して保育をしていますか               | 2   | 9  | 1 | 0 |
|              | 反省・課題 別紙参照   |   |    |   |   |
| 保育の内容        | 保育の内容は目標を具体化したねらいと、具体化した内容から構成されていることを理解していますか                 | 3   | 8  | 1 | 0 |
|              | 保育所保育は『養護』と『教育』が一体となって展開されることに留意していますか                         | 4   | 5  | 3 | 0 |
|              | 反省・課題 別紙参照   |   |    |   |   |
| 養護に関するねらいと内容 | 朝の健康観察を丁寧にしたり、一人一人の平常の健康状態を的確に把握していますか                         | 5   | 6  | 1 | 0 |
|              | 子どもの特性や発達過程を踏まえ、常に清潔で安全安心な保育環境に心がけていますか                        | 5   | 7  | 0 | 0 |
|              | 子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか                    | 6   | 5  | 1 | 0 |
|              | 保育士等の温かい受容的な雰囲気や関りが子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して保育をしていますか             | 3   | 7  | 2 | 0 |
|              | 「早くしなさい」などせかさず言葉を不必要に使わないで、一人一人の発達過程に合わせた対応を心がけていますか           | 0   | 5  | 7 | 0 |
|              | 「だめ」「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか                          | 0   | 4  | 8 | 0 |
| 反省・課題 別紙参照   |  |   |    |   |   |
| 教育に関するねらいと内容 | 子どもが活動しやすいように、その都度、室内の温度や湿度調整、換気チェックをしていますか                    | 6   | 6  | 0 | 0 |
|              | 園庭や散歩など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか                                     | 7   | 4  | 1 | 0 |
|              | 保育士が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか                      | 4   | 8  | 0 | 0 |
|              | 食事の前や排せつ後の手洗い等、清潔の習慣が身につくよう援助していますか                            | 7   | 5  | 0 | 0 |
|              | 子どもが見通しをもって意欲的に行動できるようにするとともに、快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか | 4   | 7  | 1 | 0 |
|              | 危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日頃からしていますか                        | 7   | 5  | 0 | 0 |
|              | つまづきや葛藤、けんかなどを子どもの発達に欠かせないものとしてとらえ、対処していますか                    | 3   | 7  | 1 | 0 |
|              | 困っている友だちのことを心配するなど思いやりを持てるよう援助していますか                           | 5   | 7  | 0 | 0 |

| 評価基準             | A  | B | C | D |   |
|------------------|--|---|---|---|---|
| 教育に関する<br>ねらいと内容 | 保育士は子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、すべての言動が子どもにとってモデルになっていることを常に意識していますか       | 4 | 7 | 1 | 0 |
|                  | 子ども同士が力を合わせて取り組む姿や協力して遊びを発展させていく姿を十分に認め、集団意欲を高める関りを行っていますか             | 4 | 8 | 0 | 0 |
|                  | 子ども同士が思ったことを相手に伝えたり、相手の思いにも気づけるよう援助をしていますか                             | 6 | 5 | 1 | 0 |
|                  | 身近な自然に触れどうしてという疑問に対して美しさや不思議さに気づけるよう配慮し『なぜ?』という疑問に対して一緒に考えたり調べたりしていますか | 2 | 6 | 4 | 0 |
|                  | 毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近などの一の違いや時刻などに関心が持てるような環境構成に配慮していますか              | 3 | 4 | 5 | 0 |
|                  | 信頼できる相手に伝えたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもの表情や姿をよく観察し、その場に応じた言葉かけをしていますか       | 3 | 8 | 1 | 0 |
|                  | あなたは子どもがわからないことを訊ねたり、楽しい経験を話すなど安心して話せる雰囲気を作っていますか                      | 6 | 6 | 0 | 0 |
|                  | ありがとう、ごめんなさいなど生活に必要な言葉をいつも使えるように保育していますか                               | 8 | 4 | 0 | 0 |
|                  | 歌ったり踊ったりして音や動きの楽しさや、様々な色・形・手触りに気づき、心地よさを感じる機会を作っていますか                  | 3 | 8 | 1 | 0 |
|                  | 糊・ハサミなどいろいろな道具の使い方を一人ひとり丁寧に教えたり見守ったりしていますか                             | 3 | 7 | 2 | 0 |
|                  | 一人一人の育ちやその日の様子など、職員間で連携をとり、職員全体で見守る体制ができていますか                          | 6 | 5 | 1 | 0 |
|                  | あなたの保育が、小学校以降の学習や生活の基盤につながることに配慮し、就学に向けて円滑な接続ができるよう小学校との連携を図っていますか     | 4 | 4 | 4 | 0 |
| 反省・課題 別紙参照       |  |   |   |   |   |
| 保育の計画<br>及び評価    | 園の保育理念・保育目標・全体的な保育の計画などを理解していますか                                       | 6 | 5 | 1 | 0 |
|                  | 指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明することができますか                                     | 3 | 6 | 3 | 0 |
|                  | 指導計画は必ず『全体的な保育の計画』に基づいて作成していますか  | 4 | 7 | 1 | 0 |
|                  | 行事は、その保育上の意義を十分検討したうえで、指導計画に組み入れていますか                                  | 5 | 5 | 1 | 0 |
|                  | 指導計画(年間・月・週)が実際の子どもの姿・心情・意欲・態度に合っているか自己の保育を振り返り、反省評価及び改善点を見直していますか     | 4 | 5 | 3 | 0 |
|                  | あなたの指導計画の反省評価及び改善点は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか                           | 2 | 8 | 2 | 0 |
|                  | その日あった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもにかかわる他の職員と共有することができていますか                  | 7 | 4 | 1 | 0 |
| 反省・課題 別紙参照       |  |   |   |   |   |
| 健康と安全            | 保育中の事故防止のために、子どもの心身の状態などを踏まえ、施設内外の安全点検や全職員での安全対策の体制を図っていますか            | 9 | 3 | 0 | 0 |
|                  | 子どもが危険な場所や危険な遊びがわかり、安全に気をつけて行動するよう指導していますか                             | 8 | 4 | 0 | 0 |
|                  | 火災や地震などの災害の発生に備え、緊急時対応の具体的内容及び手順や役割を把握していますか                           | 5 | 6 | 1 | 0 |
|                  | 子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるよう雰囲気づくりや配膳の手伝いなど食事に興味をもてる工夫をしていますか                | 5 | 7 | 0 | 0 |
|                  | 子どもたちが、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう心掛けていますか                          | 4 | 7 | 1 | 0 |
|                  | 食物アレルギーの子どもに対し、家庭と連携しながら除去食などの配慮をおこない、誤食の予防対策としてマニュアルに沿った対応をしていますか     | 7 | 4 | 1 | 0 |
|                  | 食育の計画に基づいて、食育に関する取り組みを実践していますか   | 3 | 6 | 3 | 0 |
| 反省・課題 別紙参照       |  |   |   |   |   |

| 評価基準          |  | A   | B  | C | D |
|---------------|--|---|----|---|---|
| 保護者に対する<br>支援 | 送迎の際に保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか                                 | 4   | 8  | 0 | 0 |
|               | 一人ひとりの保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか                              | 3   | 5  | 4 | 0 |
|               | 家庭との信頼関係が築けるような連絡ノートの書き方をしていますか                            | 3   | 6  | 3 | 0 |
|               | あなたは、保護者が子育ての悩みや心配事をなどを安心して話せる存在になるよう心掛けていますか              | 3   | 9  | 0 | 0 |
|               | あなたの保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求を受け止めようと努力していますか               | 2   | 10 | 0 | 0 |
|               | 保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで園全体で受け止めようとしていますか                | 7   | 5  | 0 | 0 |
|               | 反省・課題 別紙参照   |   |    |   |   |
| 職員の連携<br>資質向上 | 職員会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか                            | 1   | 10 | 1 | 0 |
|               | 園の内外における研修・研究活動及び自己研鑽により専門性を高める努力をしていますか                   | 3   | 6  | 3 | 0 |
|               | 職員同士の信頼関係、保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか                        | 2   | 9  | 1 | 0 |
|               | 自分の保育を振り返り、課題や問題点を見つけるとともに、その中で生じた疑問や悩みを上司や同僚に説明することができますか | 2   | 8  | 2 | 0 |
|               | 一人ひとりの子どもの活動や姿をしっかり記録に留めることができますか                          | 4   | 6  | 2 | 0 |
|               | 反省・課題 別紙参照   |   |    |   |   |
| 保育士の責務        | 毎日笑顔で子どもや保護者、同僚に接するよう心掛けていますか                              | 6   | 5  | 0 | 0 |
|               | 子どもとよく遊び一緒に楽しんでいますか  | 5   | 6  | 1 | 0 |
|               | 子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜まず、保育に取り入れていますか                  | 2   | 6  | 4 | 0 |
|               | 子どもの自発性や発想を大切に、子どもが主体的に活動できるよう適切な援助や環境構成を心がけていますか          | 3   | 8  | 1 | 0 |
|               | 子どものこと、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、適宜園長や副園長・主任に報告連絡相談をしていますか       | 4   | 7  | 1 | 0 |
|               | 子どもの名前はニックネームではなく、〇〇さん〇〇ちゃんなど丁寧な呼び方をしていますか                 | 2   | 9  | 1 | 0 |
|               | 子どもの個人情報を適切に扱うとともに、園内で知れた事柄や情報に対して守秘義務を遵守していますか            | 11  | 1  | 0 | 0 |
|               | あなたは創意と工夫を惜まず、喜びや意欲をもって保育をしていますか                           | 5   | 6  | 1 | 0 |
|               | 子どもの発達や成長に関する記録や帳簿類は適切に記載し、保管されていますか                       | 9   | 3  | 0 | 0 |
| 反省・課題 別紙参照    |  |   |    |   |   |
| 反省・課題         | 総則   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身に余裕を持ちながら、子ども一人一人に合わせた保育が出来るようにしていきたい。</li> <li>・愛情はあるが、人格の尊重を100%は出来ていない。どこまでOKにしていくかが難しい。</li> <li>・子ども達の性格に合わせて、一人ひとりに見合った保育を心がけている。</li> <li>・計画等は繰り返し目を通して、内容等をきちんと確認していきたいです。</li> <li>・愛情はあるが、人格の尊重をしているという部分で自信はない。</li> <li>・保育の専門性の知識があまりないので、子ども達のためにも向上に努めたいです。</li> <li>・園の保育計画、全体の目標に向かった保育を心掛け、年齢で経験させたい身につけたい事柄を手順・段階を踏まえて実行できた。</li> <li>・保育をする際、愛情を持って接することができると思う。</li> <li>・一人ひとりの人格を尊重することはもちろんのこと、その子が今何をしたいのか、どうして欲しいのか、くみ取りながら進めた。</li> <li>・子ども一人ひとりの個性を大切に保育をし、関わっていくことができた。</li> <li>・最善の利益を考慮する努力はしているが、自分の都合を優先してしまうことがあった。全体計画に基づいた保育目標や各計画案は組織として整備している。</li> <li>・これからの一人ひとりの人格を尊重し、自分自身の人間性や専門性の向上に努めたいと思います。</li> </ul> |    |   |   |

|       |              |  |
|-------|--------------|--|
|       | 子どもの発達       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を把握できていない部分があるので、理解し直したい。</li> <li>・年齢のみにとらわれず、個々の発達を配慮して取り組んでいる。</li> <li>・色々な発見を共有したり、出来たことを褒めることで新しいことに挑戦していけるように促す努力をしている。</li> <li>・クラス以外の子ども達の姿を良く把握できていない部分があり、かかわり方に戸惑う部分があるので、先生方とのコミュニケーションも取っていききたいです。</li> <li>・一人ひとりの発達目標を理解し、かかわりに配慮していくことができた。</li> <li>・発達に関してもっと知識を身につけたいと思います。</li> <li>・基本をしっかり身につけ、次のステップへ進める援助ができた。</li> <li>・具体的に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解できていない所があるので見直し保育に取り組みたい。</li> <li>・ありのままの姿を受け入れていながら、発達に沿った関わりで、支援を個々にも合わせて行っていききたい。</li> <li>・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が覚えていない部分もあるので、覚えておく。</li> <li>・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解はしているが、その理論に基づいての実践は不足していると感じている。</li> <li>・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をよく理解できていないところもあるので、よく理解して進めていききたいです。</li> </ul>   |
|       | 保育の内容        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所保育の内容を一から詳しく見直しながら、今後の保育に繋げていききたいと思う。</li> <li>・一人一人の発達段階を踏まえて保育をしていた。</li> <li>・安全性に留意しながら、一人ひとりの心の安定を図れるような関わりをしたいと心がけている。</li> <li>・年齢に沿っての保育に取り組めるよう内容を検討し、日々の保育の中に入れていきます。</li> <li>・保育士の先生方の話しや内容が書いてある物を率先して勉強したいと思います。</li> <li>・養護と教育が一体となって展開されていくことを留意していききたいと思います。</li> <li>・2歳児クラスは、特に基本的な生活習慣の自立に重点が置かれているが、人として成長する言葉、行動、心等にも配慮が求められているため、用語と教育に配慮している。</li> <li>・養護と教育が一体となった保育を心掛けて保育をしている。</li> <li>・どういった場面で養護的な関わり方があるのかを理解し、それを実践していけるようにしたい。</li> <li>・保育の内容を理解して、反映することができた。</li> <li>・日々の生活の中で、用語と教育が一体となっていることを理解し、場面に応じて意識して関わることができた。</li> </ul>   |
| 反省・課題 | 養護に関するねらいと内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「だめ」という制止する言葉を使ってしまう事があるので、不必要に使わないよう心掛けて保育をして行きたい。</li> <li>・「早く」や「ダメ」という言葉をなるべく使わないようにしているが、まだまだ言ってしまう。</li> <li>・一人ひとりの発達過程に合わせて、スキンシップを回り心の安定や健康状態を見守るように心がけている。</li> <li>・一人ひとりに寄り添って、保育を行いたい気持ちはあるものの、活動内容や時間帯によっては難しい事も多いです。関わられるような時間を見つけたり、環境設定も大切だと思います。</li> <li>・日常生活の中で早くと言うことが多いので、その子のペースに合わせた関わりを見つける努力をする。</li> <li>・そうしても知らず知らず決まった時間などがあると「早くしなさい」と使ってしまうことがありました。改めて心掛けて接したいと思います。</li> <li>・甘えを受け入れるばかりではなく、どうなって欲しいという目標に向かい、一人ひとりに応じたスタンスを配慮しながら保育を進めたが、子どもの心が安定していたとは言えない。</li> <li>・「早くしてね」「急いでね」と急かすことばを使ってしまうことがあるので、気を付けていきたい。</li> <li>・「早くしなさい」「だめ」という言葉を使わず、発達過程に合った言葉がけが出来るようにしたい。</li> <li>・急かすことばや静止する言葉を使ってしまうことが時々あるので、使わずに声掛けできるよう関わっていく。</li> <li>・忙しいと「早くしなさい」等と言ってしまうので不必要に使わずに対応していききたいです。</li> </ul> |
|       | 教育に関するねらいと内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活のマナーや日常の危険なことは常に声掛けをしていた。</li> <li>・以上児と関わる事がある時は、図形や数量等の学びにつながる環境構成を意識して配慮できるようにしていきたい。</li> <li>・日常生活を送る中で人とのコミュニケーションの取り方や色々な体験をすることで、気づくことやその気持ちを受け止めて良い報告に促せるように心がけている。</li> <li>・未満児クラスにいるため、大きいクラスの活動や小学校との連携等は分からない事が多い。以上児の先生方に教えてもらえるよう自分からも聞いていきたいです。</li> <li>・自分心が植物などへの関心が低い為、気付きが少ない。</li> <li>・教育に関しても本格的な利子気をしっかり学んで、いろいろな工夫も身につけてみたいと思います。</li> <li>・活動内容に工夫したり、個人対応での絵画・造形で一人ひとりの現状理解と物の使い方等を伝えたり見守ることができた。</li> <li>・図形、数量、前後左右などに関心が持てるような環境が不十分のため見直ししていきたい。</li> <li>・自分がやられて嫌だと思ふことはやらないということを伝え、相手の気持ちを理解できるようにしていきたい。</li> <li>・リトミックなど踊ったり、歌ったりする機会を作っているため、引き続き機会を増やしていく。</li> <li>・自主的個別保育の環境の中に、教育に関する環境が整備されているので、大いに活用することができた。</li> <li>・育ちや様子など気になることがあれば、相談できるのでこれからも続けていきたい。</li> </ul>              |
|       | 保育の計画及び評価    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に立ちする反省をしっかりと行い、これからの保育に繋げられるよう日々反省評価をすることが出来たと思う。</li> <li>・指導計画に基づいた保育計画を作成し、実際の子ども達と大きな違いがないかを見ていった。</li> <li>・保育理念や保育方針を理解し、つよく・あかるく・なかよくを意識しながら保育に当たっている。</li> <li>・計画案等は細かくつくられているので、クラスの中でも活動につながるよう組み入れたり考慮されています。作業が終わると途切れてしまう事もあるので、継続できると良いと思います。</li> <li>・保育の計画作成も経験したことがない為、この様な評価になりました。</li> <li>・土台となる計画を基に指導計画を立案している。子ども達に対する気付きや対応等共有して関わるようにしている。</li> <li>・指導計画のねらいや内容を分かりやすく説明できない為、説明できるように取り組みたい。</li> <li>・担当を持つ子の姿や心情をよく観察して理解し、その子に合った計画等を立てて行けるようにしていく。</li> <li>・その日あったことや気になる子どもの様子を担任の先生や関わる職員に相談して、どうしたら良いのかを考えていくことができた。</li> <li>・新しい保育指針に基づいた指導計画の見直しが今後の課題。ここ数年見直しが十分ではないので早急に実施していきたい。</li> <li>・自分の保育をふり返り、評価し、改善していくことを続けていききたいと思います。</li> </ul>  |

|       |               |  |
|-------|---------------|--|
|       | 健康と安全         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の計画を月齢ごとにしっかりと把握して、それに沿った細かな対応が出来るようにしていきたい。</li> <li>・子どもが自ら危険なことが分かるように、常に話をしていた。野菜の栽培をすることにより食に対する大切さやありがたさを伝えていった。</li> <li>・食物アレルギーは命にかかわることもあるので、何重にもチェックして誤食予防に努めている。</li> <li>・体調不良の子やケガをしたこの対応のマニュアルをしっかりと把握したり、災害時やアレルギー児に対してのかかわり方等を再度確認して、慌てずに動けるようにしたいと思います。</li> <li>・毎月の訓練の中で災害時の対応を確認はしているが、感度も確認していく。</li> <li>・健康や安全面は何よりも一番大切な事なので、更にできるように心掛けをしっかりとしていきます。</li> <li>・子ども達の安心・安全・健康には特に注意している。</li> <li>・子ども達に危険の内容に見守りつつ、声掛けをし取り組んでいる。</li> <li>・遊ぶ時は毎回使い方やルールを全員で確認し、安全に遊んでいけるように伝えていった。</li> <li>・子どもが危険な場所や遊びをしたら「危ないよ」と一声かけするだけだったので、どうして危ないのかを伝えた方がいいと思った。</li> <li>・コロナ禍により、食育の取り組みが十分ではないので、感染症対策を講じた上で実践できるよう検討していきたい。</li> <li>・事故防止のための安全対策が取られているので、これからもチェック表に基づきながらしていきたいと思います。</li> </ul>  |
| 反省・課題 | 保護者に対する支援     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎の際には保護者の方々とのコミュニケーションが出来るだけたくさんとれるよう機会を作ることが出来た。</li> <li>・お迎えの時に一声かけたり、連絡ノートや掲示板を利用して、子どもの様子を伝えていった。</li> <li>・送迎の際に保護者の方に声を掛けたりコミュニケーションを取ることが出来た。</li> <li>・保護者とはなるべく言葉を交わすよう心掛けています。クラス外の保護者とのコミュニケーションももう少し取って行きたいです。</li> <li>・相談内容によっては、園長・主任に報告するよう努めている。</li> <li>・保護者の方は園での様子がとても気になっていると思うので、相談も含めて安心して話せるように心掛けています。引き続き努力していきます。</li> <li>・連絡ノートの保護者からのコメントに対しては、必ずコメントを記入するようにしているが、会議等で時間が取れない時もある。また、保護者からコメントがない場合は投げかけ問いかけをしている。</li> <li>・保護者の方と話す機会をたくさん取り入れることで、悩みなど話せる存在となるよう努力している。</li> <li>・何かあった時はその日の迎えの際に伝えていき、連絡を取れるようにしていく。字を丁寧に書いて読みやすいノート作りをしていきたい。</li> <li>・保護者からの相談されたことは担任の先生に話して、その後職員会議などで園全体に周知していった。</li> <li>・どんな保護者に対しても受容の意識を持って、対応するように心掛けていった。職員同士で行ってはいけるが、報告・相談・連絡の徹底と情報共有、周知が時々不足してしまうので、職員同士で連携できるように取り組んでいきたい。</li> <li>・忙しさもあり、保護者とは挨拶を交わす程度になってしまっているが、何かある時は伝えていきたい。</li> </ul> |
|       | 職員の連携<br>資質向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修にも参加させていただいたり、専門性を高めるための努力をすることが出来た。</li> <li>・園内外の研修に参加し、自己啓発に努めました。悩んだことはすぐに同僚に相談して一人で抱え込まないようにしている。</li> <li>・会議や研修を通し、専門性を高めたり、反省などを共有し問題点をなくす努力が出来た。</li> <li>・自分のクラスの子どもの様子は良く把握し、記録しているがやはり他のクラスの子どもの把握はかけているので、自分からもっと関わっていきたくいです。</li> <li>・モンテ研は復習し、子どもに提示することが多いが、他の研修は復習のみで終わってしまうように感じる。</li> <li>・もっと会議でも子ども達のためや園のためにも発言していこうと思います。</li> <li>・話し掛けを行い、共通理解ができるようにしている。担任1人が長く、複数で意見を出し合い話し合うタイミングが難しかった。</li> <li>・専門性を高められるよう努力していきたい。</li> <li>・出来ないことはそのままにせず、色々な職員に指導やアドバイスをもらいながら出来るようにしていった。信頼関係を作るには自分自身がどのようなアプローチをすればよいか、アプローチの仕方をもっと知っていきたくい。</li> <li>・自分の保育をふり返って、課題や問題点を見つける時、疑問を相談することが無かったので相談できるようにしていく。</li> <li>・自己研さんの努力はしているが、保育のことよりもパソコンスキルや事務関係に傾きつつあるので、保育についての新しい情報を取り入れられるよう意識していきたい。</li> <li>・研修などをして、専門性を高められる機会があることは良かったと思うが、時間をかけて良く学ぶことができなかったのでもっていきたくい。</li> </ul>          |
|       | 保育士の責務        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの名前をニックネームで呼んでしまっていることがあったので、丁寧な呼び方・関わり方が出来るようにしていきたい。</li> <li>・クラスでの出来事、保護者の様子などは情報を共有するようにしている。個人情報の取り扱いにはきちんと守っている。</li> <li>・子どもと毎日笑顔で接すると同時に、保護者や同僚にも笑顔で接するように心がけている。</li> <li>・子ども達と関わる事は楽しいと感じています。今後も保育士としての責務に努めていきたいと思います。</li> <li>・以前は呼び捨てにすることも多かったが、意識改善するようにしている。製作などのレパートリーを増やしたい。</li> <li>・子ども達と共に自分も成長や責任をしっかりと持ち、なによりも一番子供たちのために保育の補助をがんばります。</li> <li>・みんな名前を呼んでいるが、同じ名前の子は区別として下の名前で呼んでいる。工夫・改善はないだろうか。</li> <li>・活動がマンネリ化してしまっている部分があるので、創意工夫して楽しめるように保育に取り入れていきたい。</li> <li>・活動において自分自身が持つ生活活動のアイデアが少ないので、どんどんバリエーションのものを広げていきたい。</li> <li>・疲れている時、子ども、保護者、同僚に笑顔で接することができていないと思うので、笑顔で接するよう声をかけていく。</li> <li>・手作り教材を作ったり環境構成をする時間はあまり取れていない。個人情報の取り扱いには細心の注意を払って実践している。</li> <li>・守秘義務は大切なので、これからも守っていきたくいと思います。</li> </ul>  |

今年度を振り返っての感想

- ・今年度は0歳児の担任として、保育に携わりました。まだまだ自分のしてほしい事、したい事等表現できないので、子ども達をよく観察して何を訴えているのかを理解してあげられるような関わりが7出来るよう努めました。本当に日に日に目に見えて成長が感じられ、少しずつ自分でできるが増えるのを見守ることができました。子供たちの成長の喜びや達成感を保護者と分かち合いながら、毎日学びながら保育することが出来ました。
- ・今年度は4歳児を受け持ち“何でも出来そうだけど出来ない”という所からのスタートだった。出来る子と出来ない子の差が激しく、差を縮めることを目標としていった。各々の得意分野を不得意分野が違うので、得意分野の方で褒めて伸ばしていった。そうすることで少しずつ不得意な事にもチャレンジできるようになっていったと思う。私自身も勉強になる一年でした。
- ・調理員なので、あまり深く子どもと関われる機会は少ないが、朝の声掛けや保育に携わる際には園の保育方針をもとに、一人ひとりの体調に留意しながら、穏やかな気持ちで楽しく関わる事ができたと思う。食育に関しても、保育の先生方と連携を取ることでスムーズに離乳食の移行をすることが出来た。すべての業務においてコミュニケーションを図ることはとても大切なことだと感じました。
- ・今年度は1歳児担当でした。一人ひとりの子ども達としっかりと向き合い関わってきました。それぞれの個性や月齢に沿って発達にも違いがあり、そういった点をしっかりと受け止めながら保育してきました。日常の中では養護の部分が多く、発達に応じて介助をしたり、家庭や周りの先生方と話しながら関わることが出来ました。生活面で介助が必要な部分が多い年齢の為、排泄や食事、着替え等の場面はやはり大変な部分が多かった気がします。複数担任だった為、保育についても話し合ったり、子ども達をお互いに理解できるよう努めてきました。一年間で大きく成長した子ども達を見る事が出来、達成感も得られました。
- ・5歳児担任2年連続ということで昨年度よりは要領よく仕事をこなすことができた。その中で骨折という大きなケガもあり、運動会前で悔いが残る所もある。情緒不安定になった子への対応にも悩んだが、母親と相談しながら安定を図っていくことができた。以上児担任同士も連携が取れており、充実した保育をすることができた。
- ・3月で1年が経ち、いろいろ業務を覚えるのに必要な部分もあり適切な保育ができていたかとても不安でした。保育に関してはとにかく補助に入った際、一緒に先生が子供たちにどう接しているのか、どう保育をしているのかを良く観察し、自分も取り入れながら頑張ってみました。最初は名前を覚えるのにも不安だらけでしたが、今はしっかりと覚えられ、ほめる時も注意する時も少しの自信もつき、子ども達としっかりと向き合うこともできるようになりました。学童保育でも日中の補助がとても役に立ち、小学生ともしっかり向き合い、信頼関係も少しずつですが築けている気がします。あつという間な1年でしたが、たくさんのがが学べました。
- ・主任補佐の仕事と、クラス複数担任のリーダーとしての関係性作りが難しかった。すみれ組の部屋は朝・夕時間外保育で利用していることもあり、環境構成への配慮不足にもなった。個別保育では担任2人が一緒に関われる日が少なく、行事に、向けた取り組みや移行期における段階を踏んだ手順の確認等の具体化の話が足りなかった。
- ・発達や月齢の差に配慮しながら活動に取り組めるよう工夫していけたと思う。痲痺持ちの子や自傷行為をする子に対する関わり方に悩むこともあったが、気持ちを受け止めてあげ、抱っこして安心させることで落ち着く姿も見られるように保育ができたら良いと思いました。一年間楽しく保育できました。
- ・指導計画を立てるのにもっと子供たちのことを理解してから、その時の姿、心情、意欲などに沿った計画を作っていけるように学んでいきたい。活動においても自分自身が持つ活動のアイデアの数が少ないので、他の職員で教材、ネットを通して知っていき、保育の幅を広げていけるようにしたい。また今年度は手を出す子や意地悪をしてしまう子が多かった。一人ひとりが自分の思いだけではなく、相手の気持ちを理解していけるようにした。手を出すのではなく、コミュニケーションを図りながら、相手に伝えて行けるようにしていった。
- ・1年目で分からないことや不安な事がたくさんあったが、周りの先生の関わり方などを見て学ぶことができた。1歳児のことをたくさんご指導していただいたので、発達のことや関わりについても学ぶことが出来ました。疲れていて子どもに笑顔を見せられなかったり厳しくしてしまうことが何回かあったので、今後気を付けて行きたいと思った。だんだん言葉が出るようになり、「せんせい」と初めて言われた時はとても嬉しかった。
- ・保育指針を読み込んで実践するなど、保育に関する基本的な事項の確認などが不十分だったと思う。コロナ禍への対応、聖徳グループとしての組織の改革・変革に対応することで精一杯で保育に対しての見直し、学び直しなどは全くできなかった。ここ数年は、行事計画案作成、修正、実践が仕事の大部分を占めていた。主任同士の連携は密になったが、自園の職員との連携が足りなかったと思う。次年度は、保育現場に関わる時間をもっと増やして、子どもとも職員とも直接かかわれるようにしていきたい。